

農業環境インベントリー展示館の広報活動への利用
The use of Natural Resources Inventory Museum for public relations

林 裕子・小野寺達也・廉沢敏弘

Yuko Hayashi*, Tatsuya Onodera and Toshihiro Kadosawa

1. はじめに

農業環境インベントリー展示館は、農業環境インベントリーの目的や内容を紹介するために、2005年4月、それまで別々に設置されていた「土壌モノリス館」、「昆虫標本館」、「微生物標本館」の展示を一か所に集めて作られた。その後、2006年に「肥料・煙害展示室」、2012年には「企画展示室」を加え、現在では、農事試験場当時の歴史的な煙害資料から最新の温暖化適応策研究や放射能モニタリング研究までを幅広く展示している。2014年には秋篠宮殿下と佳子内親王殿下が視察されたほか、農林水産大臣や政務官、農林水産省の担当官、国内外の研究者、研修生など多くの視察・見学を受けているが、ここでは、それら以外の一般の人を対象にした広報関係の利用について紹介する。

2. 研究所公開

展示館オープン後11年間における広報関係の来訪者数を表1にまとめた。来訪者数は、東日本大震災があった2011年および一般公開が悪天候だった2008年には大きく落ち込んでいるものの、着実に増加している。特に、春に開催する一般公開と2013年より始めた夏休み公開では、展示館を開放して研究者が解説するため、多くの人に来館いただき好評を得ている。

表1：農業環境インベントリー展示館の来訪者数（広報活動関係）

年度	特記事項	研究所公開(全体受付での受付数)			研究所見学		その他のイベント	合計
		一般公開	夏休み公開	研究所公開合計	展示館見学者数	研究所見学に占める割合		
H17 (2005)	インベントリー展示館オープン	1,093	—	1,093	250	26%	100	1,443
H18 (2006)	肥料煙害展示室設置	1,233	—	1,233	342	46%	303	1,878
H19 (2007)		1,293	—	1,293	391	38%	174	1,858
H20 (2008)		604	—	604	237	34%	151	992
H21 (2009)	セミナー室設置	1,080	—	1,080	394	42%	300	1,774
H22 (2010)		1,027	—	1,027	329	35%	315	1,671
H23 (2011)	東日本大震災・一般公開中止	—	—	—	296	40%	134	430
H24 (2012)	企画展示室・放射能展示室設置	1,056	—	1,056	511	49%	373	1,940
H25 (2013)	夏休み公開 開催開始	736	1,763	2,499	688	59%	98	3,285
H26 (2014)	サイエンスカフェ開催	767	2,200	2,967	1,056	76%	103	4,126
H27 (2015)	(3月分は予定数)	766	2,415	3,181	1,146	85%	67	4,394
	合計	9,655	6,378	16,033	5,640		2,118	23,791

*広報情報室

Public Relations and Information Office

インベントリー, 第13号, p39-41 (2016)

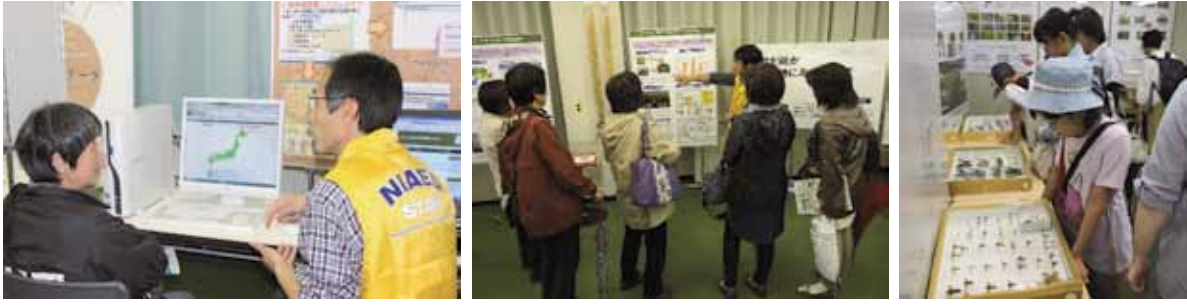


図1：一般公開のようす

左：土壌情報閲覧システムの体験（2012年 一般公開）、中央：低カドミウム米「コシヒカリ環1号」を解説（2014年 一般公開）、右：身近な昆虫の標本を見る小学生（2014年 夏休み公開）

3. 研究所見学

2009年にセミナー室を新設し、見学者は本館の会議室に移動することなく、研究所紹介ビデオを視聴したり、研究者の講義を受けたりできるようになった。このころから、スーパーサイエンスハイスクール（SSH：文科省の指定を受けて理数科教育に力を入れる高校）の見学が増え、年間の見学者数が増加した。このような見学は、「研究者による研究紹介」と「展示館見学」の組み合わせを基本とし、展示館見学の多くを広報情報室が担当している。2014年8月から翌年7月までの見学アンケート結果を図3に示すが、おおむね好評であった。また、自由記入でも、「さまざまな標本を見て知らないことを知ることができた」、「我々の生活を豊かにしてくれる“科学”を身近に感じられた」などの意見が多数寄せられた。



図2：見学のようす

左：セミナー室で研究者が高校生に講義（2014年）、右：茨城大学が招聘したインドネシアとタイの学生（2015年）

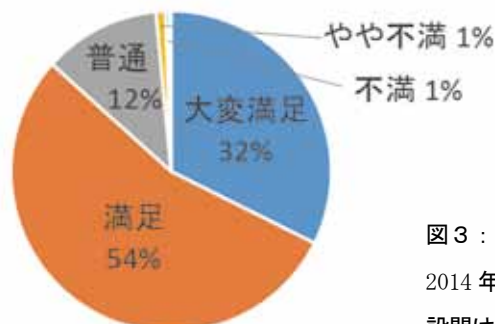


図3：アンケート結果

2014年8月～2015年7月に団体見学に実施。
設問は「見学した感想を選択してください」。

4. その他のイベント

つくばちびっ子博士（つくば市などが主催、市内の研究所などを見学する小中学生対象のスタンプラリー）、サイエンスキャンプ（JST 主催、高校生対象の科学技術体験合宿プログラム）でも展示館見学を実施した。また、2015 年の国際土壌年には、農環研サイエンスカフェ「『土壌』は足もとに広がる宇宙」を開催して、多くの参加者に土壌について学んでもらった（2014 年度）。



図4：その他のイベント

左：つくばちびっ子博士（2012年）、右：サイエンスカフェ（2015年）

問い合わせ先

広報情報室

電話: 029-838-8191 e-mail : kouhou@niaes.affrc.go.jp